

# プレ研修会第1分科会 参加者アンケート

## 1 運営、会場、日程について

良い (6名)

教室の扉が取り払われ、大人数が参観しやすかった。(2名)

役員の方々、ありがとうございました。

実行委員の皆さん、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

公開授業にあたり、指導案検討から当日の運営まで、本当にお疲れ様でした。

時間通りに進んで良かったです。様々な準備大変だったと思います。ありがとうございました。

タイムテーブルがゆったりとして良かったです。

全体会場に机があるのはありがたいことだった。(2名)

困った事はありませんでした。湯茶コーナーにたくさん飲み物があってうれしかったです。

ありがとうございました。お疲れ様でした。

■ 司会者・助言者との打合せは昼食をとりながらでも、事前にしておきたいですね。

■ 改善センターの机、イスはあまり良いものではなかった。マイクが時々入らなかった。

■ 授業①→学校研究発表→授業②という流れもある。授業①でモデルを示し、その解説をした方が学校研究も説明しやすいかも。

■ 閉会式はいらなと思います。

■ 机と椅子が多少多かったと思います。

## 2 授業について (よい授業であったか、改善の視点、感想等)

良い

お疲れ様でした。子どもたちが頑張ろうとする姿が伝わってきました。

複式の大変さ、児童の実態が良くわかりました。

単式の授業でも、来年は複式になることを視野に入れながら授業をしていることに、とても勉強になりました。

どちらのクラスも実態はかなり厳しいという話でしたが、今までの先生方のがんばりが見えるように、子どもたちが授業に真剣に取り組んでいて素晴らしいと思いました。お疲れ様でした。

児童の実態を基本に作らせ、進められていて素晴らしかったです。担当のまなざしのあたたかさが伝わって来ました。きめ細やかな配慮も素晴らしかったです。

普段の丁寧な学級経営がわかるとても良い授業でした。来年も期待しています。

高橋先生、杉本先生の子どもたち一人一人を大切にする思い、伸ばそうとする熱意がよく現れた授業でした。あの一人一人の声かけが、子どもたちに頑張ってみようという気をおこさせ、がんばって良かったとの学びがい、自信へとつながっていくと思います。今後もほめることを基調に子どもたちに接し、なりたい自分、なりたい学級をイメージさせ、より高みに導いていってあげてください。

- 良い意味で欲張らず、子どもたちの学びのためにシンプルな授業を心がけているのでなあと感じました。また、学習内容だけでなく授業規律においても相当な努力と工夫が感じられ、とても勉強になりました。今後もこのような指導が継続されていくと、浜鬼にも明るい未来が訪れるのではないかと強い希望を抱きました。高橋先生、杉本先生、今日はありがとうございました。
- とてもたくさんのお話を学ばせていただき、ありがとうございました。子ども同士の関わらせ方、授業の進め方、教師の言葉など勉強になりました。子どもたちが安心して受けているんだと感じました。授業の先生方、準備されていた先生方、お疲れ様でした。
- 4年生は安心して学習できる雰囲気を感じました。先生と子どもの関係もいいのだと思いました。「同じ早さで書けると素晴らしいね。」という言葉がけで、子どもがノートに向かい、子どもたちと学習課題をしっかりと押さえているところが良かったです。子どもの発言を促したり、子どもの発した言葉をうまく使うのが上手だなと思いました。
- 5・6年生はとても静かな子どもたちという印象でしたが、緊張していたのでしょうか？ 短冊に個々に記入することで、前時までの学習の流れもできていたので積極的に活動できていたように思います。あまり交流できていないグループもあったので、個々の理解度はどうだったのか？と思うところもありました。
- 大変勉強になる良い授業でした。単式、複式両方、工夫や児童の笑顔あふれる充実したものでした。
- 子どもたちの授業に前向きに取り組もうとする様子が多くみられたと思います。指導案検討、模擬授業と参加させていただいた今回の授業でしたが、子どもたちの「やってみようかな？」を引き出せていたのではないかと思います。お疲れ様でした。
- 研究発表の時に聞いていた実態と大きく違って驚きました。普段は違うのですが、一生懸命に取り組むこともできるということだと思います。複式は授業の進め方が難しいと思いますが、良い授業だったと感じました。
- ホワイトボードの活用でいけば、ちよんせいこ先生のホワイトボードシーティングが参考になるかと。ちよん先生と岩瀬先生の安心ベース学級づくりも良いかもしれません。藤原友和先生の「ファシリテーショングラフィック」も参考になるかと。
- 期待する内容としては「領域別の能力、意欲・態度」や「本時で予想されるつまづきに応じた支援の手立て、良さを生かす支援の手立て」など。
- 読みを深めるポイント  
4年生の学習では、「色紙」ではなく「四角い色紙」。5年生の学習では、「今年はひとつこれを使ってみようかな」の心情の読み取りで、「このつかまえたがんを使えば他の残雪の仲間をつかまえられるぞ」と「今年こそはがんを使って残雪をつかまえられるぜ」の違いを明らかにすることで読みを深める。
- 4年生は先生の意図、ねらいがしっかりしていると感じました。掲示物も効果的に振り返られるものでした。学ばせていただきました。
- 見やすい指導案でした。何を大切にしているかがよくわかる授業でした。中学校と課題が似ており参考にしたいと思います。
- 全教職員で課題解決のために方針をもって取り組んでいる様子がよくわかりました。子どもたちのつぶやきを丁寧に扱っていました。

- 児童が楽しく学ぶ姿が見えて、とても良かったと思います。
- 4年生は目的がしっかり児童に定着していて、楽しみにしていることが良い意欲付けになっていたと思います。同じ方法で考えることで、流れがわかりやすく、自信をもちやすくなっていたと思います。
- 5年生が個人でもグループでもうまく考えることができている、心情を追いかけることができていると思います。
- 楽しく明るい雰囲気先生と上手にコミュニケーションを取りながら、学習していたと思います。  
6年生でやっていた、新出漢字の意味調べを真似したいです。(低学年からでもできますかね?)
- 4年生の要約文、ねらいと結論、ぱっちり合っていました。ホワイトボードを全員で確認しながらアドバイスあったり、良い文が判断しあったりしている様子が素敵でした。
- 大造じいさんとがんは、ねらい通りスムーズに流れていて、子どもたちもやることを理解して取り組むことができている、すごいと思いました。お疲れ様でした。

■6年生は作業だけの時間になってしまったのは、残念でした。ワークシートに書いたものをどう生かしていくのか、自分の考えとの違ったあった時にどうしたらよいかを考えることも必要だと思いました。

■すいません・・・5・6年生は複式なのに5年生ばかり見てしまいました。支援の先生が丁寧に子どもを見ていたなと感じました。大造じいさんの気持ちで、A班が「残雪をつかまえられるぜ」と書いていたのですが、本文には仲間をとらえてやろうと、書いていました。授業時間の少ない中での読み取りは難しいと私も痛感していますが、どう指導すれば良いのか悩みました。

■指導案の座席表の内容を見直す必要があるのでは。

■協力校と作り上げた授業内容であり、皆で指導していく意思是理解できるのですが、授業中は授業者以外は児童にかかわりをもってはよろしくないように思います。授業についてではないのですが気になったので。

(その他)

## 1 単学級(4学年)であっても複式の視点を明確にした授業づくり

### (1) 自力学習の遅速の対する配慮～見通し～

(例) 早く終わった子は、次に何をするのか明確に指示する。

(例) 学習の流れの可視化

### (2) 学習形態の工夫～累積

(例) 別の課題を与えて、間接指導の体験をさせる。

## 2 同時間接指導における教師の立ち位置の在り方

### (1) 自力解決の時間を客観的に見とる～構成

(例) 単にどちらかの学年に関わっていただければならないという教師の姿勢も大事だが、次の間接指導に向けた準備の時間であっても良い。

### (2) 個別指導として活用～個人差への対応

(例) 本時ではとても良く対応していた。(6年生) ※5年生までは私がみとることはできませんでした。

### 3 研究協議について（持ち方，進行，協議の内容と深まり等）

良い（2名）

多くの意見が出て良かったと思います。

たくさんの質問や活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間だったと思います。

時間が正確で、たくさんの事、大事な事など、学ぶことができました。

司会がとても良かったです。参加者からの意見感想もあらためてまとめてくれていたので、わかりやすかったです。おつかれ様でした！！

司会者、お疲れ様でした。

参加者からもたくさん意見・感想が出て、次年度に向けての方向性もたくさん見えてきたように思います。

スムーズな進行だったと思います。ありがとうございました。（3名）

スムーズかつ活発な協議ができていました。司会、記録お疲れ様でした。

研究協議への参画意識が高く、充実したいと思います。

単式・複式だけではなく、中学校まで視野に入れた意見やアドバイスを学ぶことができました。来年度もぜひたくさん学びたいと思います。

たくさんの意見やアドバイスを聞くことができ、非常に良かった。自分の授業にも取り入れて工夫できるようにしたい。授業者の先生方、お疲れ様でした。

■ 協議の柱などは、あえてなかったのですか？ あると、それに沿った意見が出て研究が深まるのかな？とも思いました。

■ 参観者がもっと当事者意識をもてる協議の工夫をしたい。例えば話し合いを模造紙に書くとか。

■ 協議を進める間、午前中に説明のあった「授業の視点」について具体的に意見を求めても良かったと思いました。

■ 授業の様子を印刷してもらえてうれしかったのですが、児童名は消しておく方が望ましいと思います。

### 4 研究の内容について（研究主題，仮説，方法等に関わって）

良い

これからも浜スタが浸透していくことを願っています。

とてもわかりやすい研究の進め方で、なんとか子どもたちに力をつけようと、教職員が一丸となって取り組んでいる様子が伝わりました。浜スタの内容や取組を保護者にもしっかり伝えているところが勉強になりました。来年度の研究発表を楽しみにしています。

いろいろと考えると、参考になることが多い研究でした。私もここで学んだことを活かして参りたいと思います。

「浜スタ」の取組、素敵ですよ。発達段階の違いはあっても、全校で統一した学習規律は必要ですね。

指導案とのからみがわかりやすかったと思います。

□浜スタを作って学校全体でつくりあげる取り組みが素晴らしいです。ぜひ、見習いたいです。

□全員で作っているという姿がよく見えました。

□仲間同士で認め合う活動、とても大切なことだと思います。

□子どもたちの実態に基づき、一人一人を大切に伸ばそうと学校の総力をあげて取組まれていることが、とてもよく伝わってきました。学び方、授業づくり、他者との関わり等、大切なものが全て盛り込まれており、研究の方向性に間違いはないと思います。来年の子どもたちの姿が楽しみです。

□「土台の学力」とも言うべき規律や態度をいかにして育てていくかは同じ課題としてあります。ぜひ来年の成果も楽しみにしています。

□学びの基礎固め、土台作りという点で大切だと思いました。浜スタ6カ条、いいですね。

■帰ってからゆっくり読みます。浜スタは良い取組ですね。スタンダードと個性を両立させる言葉がけが難しいと思います。私にはまだ見つけていません。

■学び方は座席配置の工夫をもっとしたいところ。場づくりを。例えば黒板の前にベンチを置いて話を聞く、グループ活動はアイランド型の机で。岩瀬先生とか教室リフォームを子どもと一緒に考えてみては？

■指導案の「座席表」について、4年生と5・6年では内容が異なっているので、次年度に向け統一した方が良いと思います。参観する立場としては、両方の内容を合わせるのがわかりやすく良いと思います。

(その他)

①クラスの1カ条の具体化～学級として重点を決めることはとても重要

・評価できる内容の表現・工夫をする。

(例)話を聞く ①話し手の方を見て聞く ②違いや同じことを見つけて聞く

(例)授業中集中して静かにしよう ①友達の話を聞いてから、自分の発言をしよう。

②何をしたら良いのかわからなくなったら、必ず先生か友達  
確かめよう。

②評価場面の工夫～自己評価は自分を見つめ直す意味ではとても重要。

・毎時間必要かどうかの吟味。

③学習過程の工夫～定型化はとても大事である。

・本時(5・6年)の場合、漢字練習に10分以上必要であったかの吟味。

同じような学習の流れが3時間目であることを踏んだ対応

④学校全体で取組む意義～共有化することは大切か

・横軸と縦軸のとらえ方がよい。